

授業科目 南アジア文化研究演習Ⅱ	単位 2単位
授業担当者	授業期間 休講
授業の題目と概要 「インドにおける生活宗教の実践の多様性」 インドの諸「宗教」は西欧近代の宗教概念に基づき、植民地時代以降の統治機構によって実体化されて捉えられてきた。しかし、日常生活に根ざした信仰のあり方に注目するとそのような実体的な区分を超える様々な実践が展開していることがわかる。授業では演習形式で、生活宗教が政治的なイデオロギーとどのように交渉しながら展開しているのかに注目し、インドの宗教を人類学的に研究する新しい視点を探る。	
授業の内容と計画 前半はイデオロギーと交渉しつつ展開する宗教実践に関する文献（文献名は下記のテキストを参照）を受講者で分担して、講読する。受講者は必ず文献のどこかの部分を担当して内容や論点を要約・発表し、他の参加者とともに討論する。 後半は受講者が自分のフィールド調査の内容を、前半で討論した論点と関連させながら分析し発表、これに対して参加者がコメントを加え討論する。	
使用する参考書、参考論文等 前半の講読で取り上げる予定の文献は以下の通り。 Khan, Dominique-Sila. 1997. <i>Conversions and Shifting Identities</i> . Delhi. Manohar. Mayaram, Shail. 1997. <i>Resisting Regimes</i> . Delhi. Manohar. Oberoi, Harjot. 1994. <i>The Construction of Religious Boundaries</i> . Delhi. Oxford University Press.	
成績評価基準 授業への参加、発表や討論の平常点に基づいて成績を評価する。	
その他の留意事項 特になし	